



ローソニア リアルタイム PCR 検査を開始します

ローソニア(*Lawsonia intracellularis*)は食欲減退、発育不良、下痢症状、尾かじり等を引き起こし、重篤症状の場合は、急激な腸管内出血と重度の貧血、黒色タール様便の排泄が認められることもあります。重症例から耐過する場合も多く、その場合は保菌豚となり、他の豚への感染源となってしまうことも……

ローソニアは培養が難しいため、臨床症状と病理学的検査、遺伝子検査によって診断します。弊社では以前より **PCR 法**にて糞便からのローソニア遺伝子の検出 (陽性/陰性) を行っておりましたが、新たに**リアルタイム PCR 法**を用いたローソニア遺伝子の定量を開始いたします。これまでの PCR 法では**陽性か陰性**での判定でしたがリアルタイム PCR では遺伝子量でのご報告となるため遺伝子量を比較することで**菌量の比較**にもなります。

農場内の汚染状況を知るためにもこの機会に一度検査してみたいはいかがでしょうか！

ローソニア検査 価格 (税抜)

リアルタイム PCR : 10,000 円/検体(10 検体未満)

リアルタイム PCR : 7,000 円/検体(10 検体以上)

PCR : 6,000 円/検体

IFA 抗体検査 : 1,500 円/検体



腸閉塞を発症した豚

コンサルチームからのお知らせ

「感染ルートを断つ新たな取組み」

ローソニアというと「**肉豚での下痢**」をイメージされることが多いと思います。感染ルートをたどると農場に導入された育成豚や母豚において感染がみられ、知らぬ間に子豚や肉豚に広がってしまっていることも……。ローソニアは**体内に入る菌数が多いほど、病変が重度**になる特徴があります。驚くことにローソニアの汚染が高い農場ではネズミの糞便 1g から豚の臓器に病変が出来る程の菌数が分離されたとの報告があります。さらに、**サルモネラや大腸菌等と混合感染すると重篤化しやすい**とも言われており、**環境中の菌数をモニタリング**することに注目が集まっています。ローソニアを肉豚だけのものとせず、感染ルートを断つ新たな取組みとして、この機会に是非ご活用ください。

興味がありましたら**食環研コンサルチーム**にお問い合わせ下さい!!

検査スタッフの紹介

普段は社内で黙々と仕事をこなす検査スタッフを紹介していくこのコーナー

第8回は甘いもの大すき♡林(はやし)さんを、前回登場の松浦がご紹介いたします！

主に血液分離と菌数測定を担当している林さん。天真爛漫で、みんなから愛される存在です♡
甘いもの好きの林さんですが、特にチョコレートが大好き。いつも色んな種類を持ち歩いていて、ミルクでもビターでも、どんな味でも美味しそうに食べるところに、深いチョコ愛を感じます！そんな林さんですが、わさび味のチョコだけは食べ過ぎて気持ち悪くなった経験があるそうで…本当に何味でも食べられちゃうところが、さすがですね！

次回は、2020 年度入社！大型ルーキー 中川さんを紹介いたします！



豚 病性鑑定実施状況(1-2 月) 各縦軸は陽性率 (%)

